

令和6年度第12回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

【開催日時】

日時：令和7年3月25日（火）午後6時～7時20分

場所：本庁舎4階 研修室

【出席委員】

望月委員長、赤川委員、荒井委員、池田委員、大室委員、神山委員、岸本委員、國井委員、里見委員、柴田委員、城山委員、関根委員、豊田委員、中村委員、野村委員、古川委員、牧井委員

事務局：市民協働課長、協働係長、協働係主任

【配布資料】

令和6年度第12回 清瀬市まちづくり委員会次第

令和6年度第11回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

令和7年度まちづくり委員会進行おぼえがき

令和7年度まちづくり委員会スケジュール案

【議事】

1 開会 挨拶 望月委員長

2 事務局より

（1）配布資料の確認

（2）令和6年第11回議事要旨の確認 →修正加筆等なし

3 報告事項 望月委員長

（1）新規市民提案 →なし

4 協議事項

（1）次年度のまちづくり委員会について

委員長 「進行おぼえがき」「令和7年度スケジュール案」をもとに修正等グループで話し合っていたいただき、特に「運営委員会」と「市民提案の基準」については検討いただきたい。

【1グループ】

・グループはこのままで良い。

・運営委員会については、Zoom や対面では時間が限られてしまうため、委員全員参加のLINE グループを作り発言するのは各グループ1名にするなどしてはどうか。

- ・市民提案の基準については、難しいが「実現可能」か「予算可能」を基準にしていく。

- ・提案募集の周知方法は、公共施設に置いてあってもぐちゃぐちゃになっていたり、用紙を見つけにくいといったことがあるので、A3判のモノクロで掲示すればかえって目立つのではないか。公共施設以外にも置く。

【2グループ】

- ・グループはこのままで良い。

- ・運営委員会については、LINE を使用し、事務局も参加だと時間の課題があるが、グループの中で出れる方が出席し内容はグループ内で共有すればクリアできる。

- ・市民提案の基準については、「公共性」や「将来性」、「コストパフォーマンス」、「清瀬らしさ」、「予算」などがあげられる。

【3グループ】

- ・グループはこのままで良い。

- ・運営委員会については、出れる時間が限られる。なぜ、運営委員会をやらなかったのか。

→委員長「事務局と正副委員長で2回ほど集まり行った。その後はLINE やメールでのやり取りだった。正副委員長で決めている感があり負担も多い。市民提案を審議して提言にもっていくことや条例運用調査もどんな調査をしていくかなど、より委員主体で決めていかなければならないと思った。」

- ・市民提案については、基本に立ち返って「まちづくり委員会とは」という点での話で時間が無かった。「清瀬のまちをどういうふうにしていきたいか」を話し合う場かと思ったが、そうではなくやらされている感があった。

- ・基準まで話がいかなかった。提案の情報が少ないと思った。条例調査は時間をかけたが、来年度は事務局で作成したものに対し委員は評価するだけになるとそんなに時間をかけなくても良くなる。

(2) 市民提案 NO. 4 について (グループ討議)

【1グループ】

- ・現実的には(場所や予算もかかると思うので)無いと思うが、都や国に働き掛ける方が現実的な問題。

- ・気象衛星センターが出来た経緯もあると思うので都や国が絡んだ方がよりいいもの出来ると思うと市からの提言というかたちで持っていった方がよい。

【2グループ】

- ・国立は無理だと思う。

- ・清瀬が誇れる施設だったり、どのような経緯で清瀬にきたのか歴史などを市役所内などで展示物として置く。清瀬市が誇れるというところを吸い上げ

て意見を具現化できればと考えた。

【3グループ】

・気象台はシティプロモーション的な要素があるので、清瀬市のうりはあるのかと言ったら自然豊や病院が多いといったイメージだが、気象台を上手くプロデュースすることによって街が活性化していくのであれば話し合いをして、例えば開放できる日とか記念日を作ったら良いのではないか。

委員長 気象庁の科学館はあるが、博物館は無い。国立なので情報やセキュリティでも難しい面はあるが、3つのグループから色んな意見が出たので深化させていければと思う。

令和6年度の委員会はこれで終わるが何か言いたいことありますか。

委員 「まちづくりとは何か」が最終的なテーマになると思う。具体的に考えていかななくてはならないのが私たちの使命。今後先々のほうに繋げていくにも今やっているものをきちんと整理して引き継いでいくような仕組みを作っていくことを望みます。運営委員会があった方が良い。運営委員会の中で議論していただいても良いが、まちづくり委員として期待されているものを市民にこういうふう考えていましたので皆さん共にまちづくりをやっていきましょうねとアピールできる仕事を明確していく義務があると思った。

委員長 市民提案をもとに市長提言にもっていくラインは崩さず、新たなまちづくり委員会の提案としてもっていてもいいと思う。

5 次回開催

令和7年4月22日（火）午後6時

清瀬市役所 研修室

6 閉会